

【大穂地区活動レポート】11/22 小町山ハイキングとお蕎麦

過度に体の負担にならず、野外で適切な距離をとることができ、コロナ禍でも比較的
安全。低山ハイキングは、自然を楽しみながら心肺機能の回復と筋肉の増強を図れる絶
好のイベントです。

前年の宝篋山と筑波山ハイキングに続き、今回は身体づくりと「おいしい」を同時に
満たすことができる小町山に行くことにしました。「おいしいは」小町の館の中にある



小町庵の手打ち蕎麦。小町庵は、土浦
市農業公社の運営で、手打ちの常陸秋
そばをお手ごろ価格で提供してくれて
すごい人気。歩き疲れた後、待つこと
なくスムーズにお蕎麦をいただけるに
はどうしたらよいかしら。これが最大
のポイントでした。

小町庵の開店時間 11:00 を基準にし
て、ゆっくり歩調のハイキングを 2 時
間 30 分と設定。8:00 に大穂庁舎集合、
検温や体調チェックをして出発し、8:
30 に小町の館から朝日峠の展望台目指
してハイキングを開始しました。グー
の木を経て、紅葉半ばのもみじ谷の木
橋で記念撮影。仲睦まじい男女の道祖
神の前では夫婦円満を祈りました。



9:30 展望台に到着。霞ヶ浦までの眺
望がすばらしく、次々と飛んでいくパ
ラグライダーに私たちも興奮しました。
吉沼の宝集屋の生どらでひと息ついて、

10:00 に下りを開始。上りと同じ大回りの高低差の少な
いコースを、大勢のハイカーと挨拶を交わしながら下り
ます。小野小町の顔なのかしら、おかめ岩にもちょい寄
り。このころになると、太ももとおしりも気持ちよく張
ってきました。

時は 10:40、そろそろお蕎麦屋さんの開店時刻が近づ
きます。「地区長さん、ここまできたら私達はもはや道に
迷うことはないから、先に行ってお蕎麦の順番とってき
て」とお姉さまがおっしゃいました。そこで、ひとり必
死に走ります。ああ、下り坂が足腰に効きます。



2020 年度

頑張って走った成果、10：45 ころ4 番目のカードをゲット。開店の11：00、総勢10名が待ち時間なしで、天ぷら蕎麦960円、きのこ蕎麦860円の常陸秋そばを楽しみました。コロナウィルスのせいで離れ離れに座り、みんなでワイワイはできなかつたけれど、天気も上々、有意義な時間を過ごすことができたわと、12：30大穂庁舎でみなさん充実したお顔で散会しました。



【文責：寺田 佳樹さん】